

## あ

## 愛知目標

地球規模で劣化が進んでいるとされる生物多様性の損失に歯止めをかけるために、2010年10月に開催された生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）で合意された目標。2011年以降の戦略計画で、人類が自然と共生する世界を2050年までに実現することを目指す。

## ISO14001

スイスに本部を置く民間の国際規格認証機構（ISO:International Organization for Standardization）が1996年9月に発効させた国際統一規格としての環境マネジメント規格。ISO14000シリーズとしていくつかの規格があるが、ISO14001（環境マネジメントシステム規格）が認証登録制度となっている。

## 有明海・八代海再生に向けた熊本県計画

有明海及び八代海を再生するための特別措置に関する法律の施行を受け、県では、「有明海・八代海再生に向けた熊本県計画」を策定。同計画に基づき、海域環境の保全・改善と水産資源の回復などによる漁業の振興を目標に、山、川、海にわたる様々な分野で取組を総合的に進めている。

## い

## 一酸化炭素

無味、無臭、無色、無刺激な気体で、炭素を含む物質の不完全燃焼により生成する。

環境中の主要な発生源は自動車排出ガス。この他、火災や喫煙中のタバコなどによっても発生し、体内に吸収される。ヘモグロビンとの親和力が酸素の240倍も強く、肺に吸入されると血中のヘモグロビンと結

合し、血液の酸素輸送能力を減少させ、体内組織細胞の酸素欠乏を招く。

## え

## エコアクション21

中小企業などの幅広い事業者に対して、「環境への取組を効果的・効率的に行うシステムを構築・運用・維持し、環境への目標を持ち、行動し、結果をとりまとめ、評価し、報告する」ための方法として環境省が策定した「エコアクション21ガイドライン（2009年版）」に基づく認証・登録制度。

## エコ通勤環境配慮計画書制度

県内に一つの事業所で500人以上の従業員を有する事業所を設置する事業者（特定規模事業者）が、従業員の自家用車による通勤に伴う温室効果ガスの排出抑制計画書（エコ通勤環境配慮計画書）及びその実施状況報告書を作成し、知事に提出する制度。

## エコロジストリーダー

環境問題について正しい知識を持ち、自ら環境にやさしい生活を送るとともに、地域の環境保全活動におけるリーダー的存在として取り組んでいくことができる人材。

## LED

Light Emitting Diodeのことで、日本語では「発光ダイオード」と訳される。半導体を用いたエレクトロルミネセンスという発光原理を利用して、直接電子のエネルギーを光エネルギーにしている。このため、光エネルギーが強い割には、熱エネルギーや見えない光線への変換といったロスが少なく、消費電力が少ない。

## お

### 温室効果ガス

「地球温暖化対策の推進に関する法律」で定められている二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、ハイドロフルオロカーボン類、パーフルオロカーボン類、六フッ化硫黄の6種類のガス。太陽からの熱を地球に封じ込め地球を暖める働きがある。

## か

### 語り部

語り部の制度とは、水俣病の苦しみに負けず、たくましく生きることの尊さと水俣病に対する正しい認識を深めてもらうため、直接、患者の方などからその貴重な体験を聴講できる制度で、平成6年10月から行われている。

### カドミウム

カドミウムは人体にとって有害（腎臓機能に障害が生じ、それにより骨が侵される）で、日本ではカドミウムによる環境汚染で発生したイタイイタイ病が問題となった。

またカドミウムとその化合物がヒトに対して発癌性があるとWHOが勧告している。

### カーボンニュートラル

何かを生産したり、一連の人為的活動を行った際に、排出される二酸化炭素と吸収される二酸化炭素が同じ量である、という概念。

### 環境マネジメントシステム

企業や団体等の組織が環境方針、目的・目標等を設定し、その達成に向けた取組を実施するための組織の計画・体制・プロセス等のことを指す。

（例：ISO14001、エコアクション21）

### 間伐

育成段階にある森林において、樹木の混み具合に応じて、一部の樹木を伐採し、残存木の成長を促進する作業。

### 管理型最終処分場

産業廃棄物の燃え殻、汚泥、木くず、鉱さい、ばいじん等の最終処分場で、浸出液による公共の水域及び地下水の汚染を防止するために、遮水工、集水設備、浸出液処理設備等が設けられている。

## く

### くまもとグリーン農業

農業生産の効率性だけではなく、有機物資源を有効に活用した土づくりを通じて、化学肥料や農薬の使用低減等による環境に配慮した持続的な農業を「くまもとグリーン農業」として積極的に推進している。

### 熊本県海砂利削減計画

海域環境の保全に向けた予防的な措置として、平成20年度から5か年の段階的な海砂利採取総量の規制を実施する計画。ただし、航路浚渫や作れいに伴い採取する海砂利及び覆砂用の海砂利については、社会的な要請あるいは漁業の振興面からの要請を考慮し、これまでの実績と今後の需要を踏まえ、特例として総量規制の範囲内で一定量を確保している。

### 熊本県海岸保全基本計画

本県の各海岸・地域の個性を活かしながら、沿岸域全体として防護・環境・利用が調和した総合的な海岸保全を推進するための計画。

### 熊本県産業振興ビジョン2011

県内の製造業を中心とする産業振興の中長期的な方向性を明らかにするため、平成22年12月に策定。このビジョンでは、10年後の本県産業の目指す未来像として「「選ばれる熊本」を実現するリーディング産業群の形成～くまもとテクノフォレスト・シナジーの誘発～」を掲げている。

### 熊本県産業廃棄物公共関与基本計画

熊本県における今後の産業廃棄物の適正

処理を推進するため、公共関与の必要性を明確にし、必要とされる施設の種類や必要容量、事業主体等について定めた計画。

#### 熊本県ストップ温暖化県民総ぐるみ運動推進会議

本県の温室効果ガス削減目標の達成に向け、県民、事業者、NPO団体、行政等の密接な連携と相互協力の下に、具体的な取組について協議し、県民の総意を結集した地球温暖化防止活動を県民運動として推進することを目的としている。

#### 熊本県バイオマス利活用基本方針

バイオマスの利活用を積極的に推進していくため、市町村や事業者、県民の幅広い取組を促進することを目的として、バイオマス利活用の課題並びに施策の方向性や促進方策についての基本方針を策定。

#### 熊本県分別収集ガイドライン

市町村における分別収集の標準を示すことにより、県内における一般廃棄物のリサイクルの促進を図り、循環型社会の形成に資することを目的に策定。

#### 熊本地域地下水総合保全管理計画

地域共有の貴重な資源である地下水を保全し、健全な姿で将来世代に引き継ぐため、平成20年9月、県と、地下水域を共有する13（現在11）市町村は、共同で平成36年度を目標年次とする「熊本地域地下水総合保全管理計画（第2次計画\*）」を策定した。

また、この管理計画に基づき、地下水かん養や節水、水質保全等の着実な取組を進めるため、平成21年2月に具体的な対策と工程を示した第1期行動計画（平成21～25年度）を策定した。

※第1次計画策定：平成8年3月

#### くまもとの夢4カ年戦略

「生まれてよかった、住んでよかった、これからもずっと住み続けたい熊本」という「くまもとの夢」の実現を目指し、平成

20年度に策定した県政運営の基本方針。計画期間は、平成24年3月までの4年間。

「経済上昇」「長寿安心」「品格」「人が輝く」の4つの分野で12の戦略を掲げ、4年間で特に重点的に取り組む施策を明示。

#### クリハラリス（タイワンリス）

原産は台湾、東南アジア。体長約40センチ、体重約360グラムで、本州・四国の固有種「ニホンリス」よりやや大きい。腹の毛が栗色のため、この名が付いた。ペットなどとして国内に持ち込まれ、野生化したと見られる。日本の生態系を壊すおそれや農作物被害などから、2005年に飼育・運搬を禁じる特定外来生物に指定された。

#### グリーンカーテン

窓全体に張り巡らせたネットに、ツル植物を絡ませて窓を覆う。窓からの日差しを遮り、室内温度の上昇を抑制するとともに、植物の蒸散作用によって周囲を冷やすことが期待できるといった、省エネに有効な手法のひとつ。

#### グリーン購入

製品やサービスを購入する際に、環境を考慮して、必要性をよく考え、環境への負荷ができるだけ少ないものを選んで購入すること。

#### グリーンコンシューマー

買い物をする時に、できるだけ環境に配慮した製品を選んで購入する消費者のことを言う。

#### グリーンツーリズム

緑豊かな農山漁村地域において、その自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動のことで、具体的には、都市部の住民が農山漁村の民宿などに滞在し、森林や河川などの自然を舞台にしたレクリエーションやスポーツ、農林漁業体験、農山漁村の生活体験、伝統工芸品の体験などを楽しむこと。

## け

### 景観緑三法

景観法、景観法の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律、都市緑地保全法等の一部を改正する法律のこと。

### 景観アドバイザー派遣

市町村の景観行政に関する取組や県民の景観形成活動に関して専門的アドバイスが必要であるとき、景観形成に関して専門的知識、経験を持つアドバイザーを県が派遣する制度。

### 建築物環境配慮制度

床面積の合計（増改築にあつては増改築部分の合計）が2000平方メートル以上の建築物の新築、増改築又は大規模改修をしようとする建築主（特定建築主）や既存建築物の所有者が、建築物の環境配慮に係る計画書（建築物環境配慮計画書）、環境性能に係る届出書（建築物環境性能届出書）及びその工事完了の届出書を作成し、知事に提出する制度。

## こ

### 光化学オキシダント

光化学スモッグの主成分で、オゾン、アルデヒド、PAN（パーオキシアセチルナイトレート）等の総称。環境基準は1時間0.06ppm以下。

### 光化学スモッグ

日差しが強く風の弱い日に特に発生しやすく、その影響は目がチカチカしたり、のどの痛みや視程障害を起こしたり、呼吸器系皮膚粘膜をおかすなどの症状が現れる。

### コペンハーゲン合意

京都議定書に続く、2013年以降の新たな地球温暖化対策の枠組に関する政治的な合意。2009年12月にデンマークで行われたCOP15の全体会で、「同合意を留意すること」が決定された。世界全体の長期

目標として産業化以前からの気温上昇を2℃以内に抑えることや、先進国による途上国への支援などが盛り込まれている。一方、具体的な削減目標などは入っておらず、先進国は中期目標を、途上国は削減行動を、それぞれ条約事務局へ提出することになっている。

## さ

### 再生可能エネルギー

自然環境の中で繰り返し起こる現象から取り出すエネルギーの総称。具体的には、太陽光や太陽熱、水力や風力、バイオマス、地熱、波力、温度差などを利用した自然エネルギーと、廃棄物の焼却熱利用・発電などのリサイクルエネルギーを指し、いわゆる新エネルギーもこれに含まれる。

### 作れい

潮通しがよくなるように浅海に水路を掘ること。

### 里地里山

都市と奥山の間位置し、農林業者など人の手で管理されてきた地域。集落とその周囲の森林（二次林）、農地、ため池、草地などで構成される。動植物の繁殖地や希少生物のすみかの役割も果たす。国土の約4割を占めるが、農村の過疎化で近年、荒廃している。

### 酸性雨

硫黄酸化物や窒素酸化物等の大気汚染物質が溶け込んだ酸性の雨（pH5.6以下）。ヨーロッパや北米を中心に森林の荒廃や魚類の生育を脅かす湖沼の酸性化、酸性化した雨の地下水への浸透などが懸念されている。

**COD**

Chemical Oxygen Demand（化学的酸素要求量）の略で、海水や湖沼の有機汚濁物質等による汚れの度合いを示す数値。水中の有機物等汚染源となる物質を、通常、過マンガン酸カリウム等の酸化剤で酸化するとき消費される酸素量mg/lで表したものであり、数値が高いほど水中の汚染物質の量も多いということを示す。

**事業活動温暖化対策計画書制度**

事業活動で相当程度多い温室効果ガスを排出する者（特定事業者）が、事業活動に伴う温室効果ガスの排出抑制計画書（事業活動温暖化対策計画書）及びその実施状況報告書を作成し、知事に提出する制度。

**ジクロロメタン**

発がん性の疑われている有機塩素系溶剤の一種で、無色透明の液体、不燃性、水に難溶。金属・機械等の脱脂洗浄剤、塗料剥離剤等に用いられるなど、洗浄剤・溶剤として優れている反面、環境中に排出されても安定で、地下水汚染の原因物質の一つとなっている。

**循環型社会形成推進地域計画**

市町村等が3Rに関する明確な目標設定のもと、広域的かつ総合的に廃棄物処理・リサイクル施設の整備等を推進し、循環型社会の形成を図ることを目的とした循環型社会形成推進交付金制度に関する計画であり、5か年程度の当該地域の廃棄物処理・リサイクルシステムの方向性等を示す。

**省エネルギービジョン**

地域における省エネルギー推進のため、市町村などが地域特性を生かした取組策などをとりまとめたもの。

**硝酸性窒素**

硝酸性窒素は硝酸塩として含まれている窒素のことで、水中では硝酸イオンとして

存在している。肥料、家畜のふん尿や生活排水に含まれるアンモニウムが酸化されたもので、作物に吸収されなかった窒素分は土壌から溶け出して富栄養化の原因となる。

人が硝酸性窒素を多量に摂取した場合、一部が消化器内の微生物により還元されて、体内に亜硝酸態窒素として吸収され、血中でヘモグロビンと結合してメトヘモグロビンとなり、これは酸素運搬能力がないため、体内の酸素供給が不十分となり、酸欠状態となる（メトヘモグロビン血症）。

**新エネルギービジョン**

地域における新エネルギー導入のため、市町村などが地域特性を生かした取組策などを取りまとめたもの。

**針広混交林**

針葉樹と広葉樹が混じった自然に近い森林のこと。

**森林吸収量**

森林の整備や保全によって、森林に吸収された二酸化炭素吸収量のこと。

**水銀に関する条約**

平成21年2月に開催された国連環境計画（UNEP）第25回管理理事会において、平成25年までに国際的な水銀規制に関する条約の制定を目指すことで合意。これを受けて、我が国では、この条約の採択と署名を行うために平成25年（2013年）に開催予定の外交会議（水銀国際会議）を招致して、同条約を「水俣条約」と命名したいとの意向を表明した。

本県においては、この会議を招致し、水俣病の歴史と教訓、水俣・芦北地域の美しい自然や環境の保全に向けた先進的取組を世界に発信することを目指す。

### 3R

大量廃棄社会から循環型社会への転換が求められる中で、ごみの減量やリサイクルの促進へ向けて定式化された行動目標を表す標語。発生抑制 (reduce、買う量や使う量を減らすこと)、再使用 (reuse、使えるものは繰り返し使うこと)、再生利用 (recycle、再び資源として生かすこと)の英語の頭文字に由来する。この順で環境負荷削減効果が大きく、優先的に取り組まれるべきとされる。

### 3Rコーディネーター

民間企業において廃棄物処理部門の実務経験を有するコーディネーター。

## せ

### 生物多様性

生態系や地球に様々な種、多様な生き物が存在していること。

地球上の生物は約40億年にも及ぶ進化の過程で様々な分化し、生息環境に応じてある生物種は進化・生き残り、ある生物種は死滅するなど、複雑な相互関係の下、現在に至っている。その中で、すべての生物には違いが生まれた。地球上のこのような複雑で多様性のある状況を一括りにして生物多様性と呼ぶ。

### ゼロエミッション

ある産業の生産工程から排出される廃棄物を別の産業の原料として利用する完全循環型の生産システム。資源にならない廃棄物はいっさい工場の外には出さないゼロエミッション工場（廃棄物ゼロ工場）などの動きが広がっている。

### 全窒素

環境基準の一つ。有機及び無機（アンモニア態、亜硝酸態、硝酸態）の窒素化合物の総量。窒素はりんとともに水系を富栄養化させ赤潮の原因となる。

### 全りん

環境基準の一つ。りん化合物の総量を表す語。りんは窒素とともに水系を富栄養化させ、赤潮の原因となる。

### 戦略的環境アセスメント

開発事業の計画策定後に実施する現行の環境アセスメント制度を補完するものとして、個別の事業に枠組みを与える上位計画や熊本県の政策の段階において、環境への影響を把握・評価し、環境への配慮が十分に行われることを確保する仕組み。

## た

### ダイオキシン類

発ガンを促進する作用、甲状腺機能の低下、生殖器官の重量や精子形成の減少、免疫機能の低下を引き起こすことが動物実験で報告されているが、人に対する影響については、まだよくわかっておらず、現在、国において研究を進めている。

## ち

### 地球温暖化防止活動推進員

地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき、地球温暖化対策の重要性について住民の理解を深めるための活動などを行っている人たち。地球温暖化対策に関する知識の普及や活動の推進に熱意のある人の中から、知事が委嘱しており、平成22年度は県内全市町村で106人が活動している。

### チャレンジ25キャンペーン

CO<sub>2</sub>削減に向けた具体的な行動を提案し、その実践を広く国民に呼びかける国民運動。

### 長寿命化計画

廃棄物処理施設において、ストックマネジメントの考え方を導入し、日常の適正な運転管理と毎年の適切な定期点検整備、適時の延命化対策を実施することにより、施

設の長寿命化を図る計画。

## て

### テトラクロロエチレン

有機塩素系溶剤の一種。無色透明の液体でエーテル様の臭いを有し、揮発性、不燃性、水に難溶。ドライクリーニングのシミ抜き、金属・機械等の脱脂洗浄剤等に用いられるなど洗浄剤・溶剤として優れている反面、環境中に排出されても安定で、トリクロロエチレンなどとともに地下水汚染などの原因物質となっている。

### 電子マニフェスト

紙のマニフェスト（産業廃棄物管理票）では集計や報告書の作成、情報公開に時間がかかるなどの問題があった。

このため、電子情報を活用する電子マニフェスト制度（電子マニフェスト）が導入された。マニフェスト情報は、排出事業者がパソコンや携帯電話により登録・報告し、第三者機関である情報処理センター（JWNET）が管理・保存するため、マニフェストの記載漏れや偽造がない。

## と

### 特定外来生物

外来生物（移入種）のうち、特に生態系等への被害が認められるものとして、外来生物法（2004年）によって規定された生物。

生きているものに限られ、卵・種子・器官などを含む。同法で規定する「外来生物」は、海外から導入された移入生物に焦点を絞り、日本にもともとあった生態系、人の生命や健康、農林水産業に被害を及ぼし、又は及ぼすおそれがあるものとして政令により定められる。

### トリクロロエチレン

有機塩素系溶剤の一種。無色透明の液体でクロロホルムに似た臭いを有し、揮発性、

不燃性、水に難溶。ドライクリーニングのシミ抜き、金属・機械等の脱脂洗浄剤等に用いられるなど洗浄剤・溶剤として優れている反面、環境中に排出されても安定で、テトラクロロエチレンなどとともに地下水汚染の原因物質となっている。

## な

### 名古屋議定書

生物多様性条約に基づき、2010年10月に名古屋市で開催された第10回締約国会議（COP10）にて採択された議定書のこと。

本会議により、遺伝資源の利用と利用から生じた利益の配分に関する国際ルールである当議定書と、2011年以降の新戦略計画（愛知目標）が採択された。

## に

### 二酸化硫黄

主に石油や石炭などの化石燃料の中に含まれる硫黄分の燃焼によって生じる物質。脱硫装置の普及や自動車排ガス規制により全国的に改善されている。

### 二酸化窒素

ほとんどが物質の燃焼によって生じる物質。工場や自動車の排ガスのほかにストーブやボイラーでも発生する。

### 二次的自然環境

人間活動によって創出されたり、人が手を加えることで管理・維持されてきた自然環境のこと。里地里山を構成する水田やため池、雑木林、また、採草地や放牧地などの草原などがこれにあたる。

## は

### バイオマス

生物資源（bio）の量（mass）を表す概念で、一般的には再生可能な生物由来の有機性資源で化石燃料を除いたもの。植物な

どの生命活動により大気中の二酸化炭素を固定して作られるもので、最終的には燃焼して二酸化炭素を大気中に放出しても、大気中の二酸化炭素を増加させることはない資源である。

### バイオマスアドバイザー

市町村や事業者の依頼内容に応じ、県の担当者や大学の研究者等がアドバイザーとなり、バイオマスの利活用に関する専門的な技術の助言や指導を行っている。

### バイオマス活用推進基本計画

バイオマス活用推進基本法（2009年）に基づき、バイオマスの活用の促進に関する施策についての基本的な方針、国が達成すべき目標、技術の研究開発に関する事項等について定める計画。

### バイオマスガス

バイオマスを不完全燃焼させて発生させる可燃ガス。そのガスを燃焼させ、ディーゼルエンジンやガスタービンを通して発電する。発電以外に、ボイラーによる蒸気・温水利用も可能。

### バイオマスボイラー

建築廃材や木屑等の木質系バイオマスを燃料として使用し、熱や蒸気を得る装置。

重油等の化石燃料からバイオマス燃料に転換することで、温室効果ガスの排出を削減できる。

### バイオマス・ニッポン総合戦略

循環型社会を目指すための長期戦略で、畜産や食品の廃棄物、木材や藁（わら）、資源作物などの有機物（バイオマス）からエネルギーやバイオプラスチックを生産することで、温室効果ガスの排出削減、代替エネルギー生産、新産業分野の開発、農村地域の振興を目指す。

### 排出量の見える化

商品・サービスの原材料調達から廃棄・リサイクルに至るまでのライフサイクル全

体を通して排出される温室効果ガスの排出量をCO<sub>2</sub>に換算して、当該商品及びサービスに簡易な方法で分かりやすく表示する仕組みとして、カーボンフットプリント制度がある。

### パークアンドライド

自宅から自家用車で最寄りの駅またはバス停まで行き、車を駐車させた後、バスや鉄道等の公共交通機関を利用して都心部の目的地に向かうシステム。

## ひ

### PRTR法

有害性のある化学物質の環境への排出量を把握することなどにより、化学物質を取り扱う事業者の自主的な化学物質の管理の改善を促進し、化学物質による環境の保全上の支障が生ずることを未然に防止することを目的に1999年に制定。国際的に進む有害化学物質の移動排出登録制度（PRTR）の日本版であることから、通称としてPRTR法と呼ばれている。

### PM2.5

大気中に浮遊する浮遊粉じんのうち粒径が2.5ミクロン以下のものをいう。特に微小なため肺の深部にまでたどり着き、呼吸器系のリスクがあるとされ、平成21年9月に環境基準が設定された。

### BOD

Biochemical Oxygen Demand（生物化学的酸素要求量）の略称で、河川の水の中や工場排水中の汚染物質（有機物）が微生物によって無機化あるいはガス化されるときに必要な酸素量のこと、単位は一般的にmg/lで表す。この数値が大きくなれば、その河川などの水中には汚染物質（有機物）が多く、水質が汚濁していることを意味する。



## 東アジア酸性雨モニタリングネットワーク

広範な範囲に影響を及ぼす環境問題である酸性雨問題に関して、状況を調べ、情報を提供し、協力を推進するために、日本がイニシアチブをとって東アジアで作った枠組み。現在、湿性沈着、乾性沈着、土壌・植生、陸水の4項目がモニタリングの対象となっている。

## ひ素

金属光沢があり、灰色で、鶏冠石、石黄などに硫化物として含有される。ひ酸鉛、三酸化ひ素などは殺虫剤として農業に用いられる。ひ素は毒性の強い重金属であり、三酸化ひ素は青酸カリ並である。慢性中毒になると神経炎、脳炎、肝硬変等の障害を起こす。

## ふ

### 覆砂

海底や湖底など底質改善を目的とした技術。ヘドロなどが発生し底質が悪化した底面へ砂等により覆うこと。

### ふっ素

淡黄色の気体で、天然にはふっ化物イオンとして広く存在している。主に用途としては、ふっ素系樹脂等の製造原料、侵食作用を利用したガラスのつや消し等がある。

人体への影響としては、中枢神経障害が知られている。ふっ素は、例えば、飲料水中0.5～1.0mg/l程度の少量では虫歯予防の効果があるが、それ以上になると、悪影響を及ぼす。

### 浮遊粒子状物質

大気中に浮遊する浮遊粉じんのうち大気中に長期間滞在し、呼吸器系に影響を与える粒子径が10ミクロン以下の微細な粒子。

### 文化的景観

地域における人々の生活又は生業及び当該地域の風土により形成された景観地で国

民の生活又は生業の理解のため欠くことのできないもの。具体的には、農村・牧草地や、庭園・公園、劇的な自然景観に配された文化遺産などがこれに相当する。

## へ

### ベンゼン

水に溶けにくく、各種溶剤と混合しよく溶ける。常温常圧のもとでは無色透明の液体で独特の臭いがあり、揮発性、引火性が高い。かつては工業用の有機溶剤として用いられたが、現在は他の溶剤に替わられている。大気中の環境基準は、白血病に対する疫学的な証拠があることなどから、年平均値が0.003mg/m<sup>3</sup>以下であることと定められている。

自動車用のガソリンに含まれ、自動車排出ガスからも検出される。日本では、労働安全衛生法（1972年）において特定化学物質、大気汚染防止法（1968年）において特定物質、水質汚濁防止法（1970年）において有害物質に指定されている。

## ほ

### ほう素

ほう素は主にほう酸塩として存在しており、植物及び動物にとって必須元素。

主な用途としては、鉄合金等の硬さ増加剤、原子炉の中性子吸収剤、ガラスや陶器のエナメル合成、着火防止剤、燃料合成等がある。人体への影響としては、中枢神経障害が知られている。環境基準値は、1mg/l以下と定められている。

## ま

### マニフェスト（産業廃棄物管理票）制度

産業廃棄物を処理する際には、その産業廃棄物がどのようなものなのかを十分に把握し、収集運搬業者や処分業者に正しく伝

え、処理の確認を最後まで行うことが必要であり、この役割を担うのがマニフェスト（産業廃棄物管理票）である。マニフェストには、複写式の紙伝票を利用するもの（紙マニフェスト）と電子情報技術を利用するもの（電子マニフェスト）がある。

## み

### 3つの計画書制度

より積極的な取組を促進するため、熊本県地球温暖化の防止に関する条例に基づき、一定規模以上のエネルギーを使用する事業者や一定規模以上の建築行為を行う建築主などに、温暖化対策に関する計画書や実施状況報告書を県に提出してもらい、県のホームページ等で公表する制度。

### 水とみどりの森づくり税

森林の持つ水源かん養、山地災害の防止などの公益的機能の維持増進を図るための税。

## も

### 木質系バイオマス燃料

林地残材、木材チップ、樹皮、おがくず、ペレット（樹皮やおがくずを乾燥させ、熱を加えて成形機で粒上に固めたもの）などがある。

### モーダルシフト

貨物や人の輸送手段を、車から環境への負荷が小さい鉄道や船舶に転換すること。

### 藻場

海藻（海草）類が群生している水域。水産生物の増殖の場としての機能や海洋環境の浄化機能を有する。

### モビリティ・マネジメント

多様な交通施策を活用し、個人や組織・地域のモビリティ（移動状況）が社会にも個人にも望ましい方向へ自発的に変化することを促す取組のこと。

## り

### リスクコミュニケーション

化学物質やその環境リスクに対する住民の不安に適切に対応するため、これらの正確な情報を県民、事業者、行政などのすべての者が共有しつつ相互に意志疎通を図ること。

### 硫酸イオン

地表の近くに硫化物があること、そして硫酸が酸化することで発生し、大気中、火山地区の土壌、及び海水や地下水などの水中にも多く含まれる傾向にある。また、濃度が高い硫酸イオンは、コンクリートやセメントなどの腐食に大きな影響を与える。